

4 職員の手当の状況(令和元年度)

手当名	内容および支給単価	支給実績 (元年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (元年度決算)
扶養手当	扶養親族(配偶者、22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子、60歳以上の父母など)のいる職員に支給 ▶配偶者 6,500円 ▶子 10,000円 ▶父母など 6,500円 ▶16歳から22歳の子1人につき 5,000円加算	60,181千円	266,284円
住居手当	住居を借り受けている職員支給 ▶借り受け(上限額)27,000円	51,574千円	291,376円
通勤手当	通勤距離が2キロメートル以上で、交通機関または交通用具を利用している職員に支給 ▶バスなどの交通機関に対して定期券相当額を支給(上限額)55,000円 ▶自家用車などの交通用具(2,000円～ 31,600円)	13,478千円	44,628円
管理職手当	管理または監督の職にある職員に支給(平成25年10月から25%減額実施、手当額は減額後の金額) ▶部長級:41,423円 ▶次長級:35,130円 ▶課長級:30,278円 (平成18年度から平成22年度までについては75%減額・平成23年度から平成25年9月までは50%削減実施)	19,586千円	425,764円
期末・勤勉手当	民間のボーナスに当たる期末手当および勤勉手当は、年間で4.45月分です。これを年間2回に分けて支給しています。 6月分…期末手当:1.3月分、勤勉手当:0.925月分 12月分…期末手当:1.3月分、勤勉手当:0.925月分 計 期末手当:2.6月分、勤勉手当:1.85月分	520,337千円	1,300,842円

(注) 1. 期末手当支給職員1人当たりの平均支給月額、令和元年度中の平均支給年額を表示しています。 2. 上の表に記載した手当以外に時間外手当、特殊勤務手当などの手当があります。 3. 支給実績、支給職員は普通会計の決算を基に作成しています。

5 職員数の状況

部門別職員数の状況と主な増減理由について(各年4月1日現在)

区分		職員数(人)		増減 (人)	主な増減理由
		H31	R02		
一般行政 部門	議会	7	7		
	総務	85	83	△2	再任用短時間勤務職員の配置による減など
	税務	25	25		
	民生	75	74	△1	こども園職員配置部門変更など
	衛生	23	23		
	農林水産	25	26	1	土地改良事業の市営への移管による増
	商工	9	8	△1	係統合による減
	土木	20	20		
特別行政	小計	269	266	△3	
	教育	76	78	2	小中一貫教育推進に伴う業務増などによる増
	消防	59	58	△1	退職者前倒し採用による減
	小計	135	136	1	
公営企業等 会計部門	水道事業	13	12	△1	徴収業務一部民間委託
	下水道事業	7	7		
	そのほか	30	30		
	小計	50	49	△1	
合計【459】		454	451	△3	

(注) 1. 【 】は条例定数の合計です。 2. 職員数には、公社などへの派遣職員を含み、ほかの団体への派遣職員、臨時・非常勤を含みません(平成27年以降の職員数は、地方公共団体定員管理調査に基づき教育長を含まない数になっています)。

6 職員数の勤務時間の状況

勤務時間	8時30分～17時15分
休憩時間	12時～13時

(注) 公務の運営上、特別の形態で勤務する職員は除きます。

7 主な休暇・休業制度

有給の休暇として、年次有給休暇、病気休暇や特別休暇(忌引、産前・産後休暇、子の看護休暇など)があります。また無給の休暇として、育児休業、部分休業や介護休暇などがあります。

8 職員の処分状況

	処分の種類	処分件数
分限処分	休職	17
懲戒処分	免職	0
	停職	1



糸満市職員の人事行政に関する状況について

問 人事課 ☎840-8117

1 総括

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (令和元年度末)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B/A)	(参考)平成30年度人件費率
令和元年度	61,938人	29,075,264千円	492,473千円	3,361,850千円	11.6%	11.5%

(2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

区分	職員数(A)	給与費				一人当たり 給与費(B/A)	(参考)平成30年度 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)		
令和元年度	397人	1,334,763千円	280,673千円	520,337千円	2,135,773千円	5,380千円	5,397千円

(注) 1. 職員手当には退職手当を含みません。 2. 再任用職員を含みます。 3. 休職などで1年間無給の職員は人数に含めていません。

(3) ラスパイレス指数の状況

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数で、令和元年の糸満市のラスパイレス指数は95.1です。

2 職員の平均給与額、初任給などの状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額および平均給与月額の状況(令和2年4月1日現在)

区分	平均年齢	平均経年数	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	41.9歳	19.3年	302,644円	346,366円
技能労務職	- 歳	- 年	- 円	- 円

(注) 1. 「平均給料月額」とは、令和2年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。 2. 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、調整手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当の額を合計したものです。 3. 令和2年4月1日現在、技能労務職の職員はいません。

(2) 職員の初任給の状況(令和2年4月1日現在)

区分		糸満市	沖縄県
一般行政職	大学卒	182,200円	182,200円
	高校卒	150,600円	150,600円
技能労務職	高校卒	147,900円	147,900円

(注) 糸満市の技能労務職員については、退職者不補充の方針を掲げており、近年の採用者はありません。

3 特別職の報酬などの状況(令和2年4月1日現在)

区分	役職	給料月額	役職	期末手当	区分	役職	給料月額	役職	期末手当
給料	市長	749,000円	市長 副市長 教育長	6月期 1.675月分	報酬	議長	469,000円	議員	6月期 1.675月分
	副市長	641,000円		12月期 1.675月分		副議長	419,000円		12月期 1.675月分
	教育長	585,000円		計 3.35月分 (15%役職加算あり)		議員	396,000円		計 3.35月分 (15%役職加算あり)

(注) 平成14年度から市長の給料を約15%、副市長の給料を約10%減額支給しています。給料および報酬の額は減額措置後の金額です。